

令和3年4月22日(木)、沖縄県公安委員会定例会において、沖縄県警察から次の事項について報告があり、これを受けて審議等を行いました。

今週のトピック

警察から「沖縄県警察サイバーパトロール・サポーター委嘱状交付式等の実施について」の報告がありました。

1 質疑等

(1) 令和3年度警察官A採用試験に向けた募集活動の取組について

警務部から前記事項について「警察官Aの応募状況について、男性は減少傾向にあり、令和2年度は過去10年間との比較で最少、女性も令和元年度までほぼ横ばいで、昨年度は過去10年で最少となった。今年度の募集活動は、オンライン説明会の開催や、県警察YouTube公式チャンネルを活用した情報発信、SNSを活用した情報発信やラジオ放送等の広報活動、女性対象採用説明会やインターンシップの開催等を予定している。」旨の報告がありました。

公安委員から「県内では公務員志向が高い中での減少であり、分析が必要である。昨年と今年採用された者に、就職活動にどう取り組んだのか、また周りの者がどう動いたのか広く情報収集をして分析することが必要ではないか。昨年度は新型コロナにより合同企業説明会がなかったのが大きいと思うが、今後、あらゆる場面を通じて、警察の魅力をピーアールすべき。」旨の意見がありました。

(2) 令和2年度会計監査実施結果について

警務部から前記事項について報告がありました。

公安委員から「緻密に、綿密に監査を行っていると思う。会計監査はかなり難しいものであるが、一番大事なことは枝葉ではなく、幹となる部分を会計課職員がきちんと理解しているのか、幹の部分についてしっかりと教養を行い、それを浸透させることが大切である。」旨の意見がありました。

(3) 警察本部における献血の実施結果について

警務部から前記事項について「実施した2日間で138人の職員が献血に協力した。新型コロナにより献血協力者が減少している中、引き続き協力していきたい。」旨の報告がありました。

公安委員から「コロナ禍でも輸血が必要な人は多い。献血そのものが少なくなっている中、有り難いことである。県民の一人として感謝する。」旨の意見がありました。

(4) 沖縄県警察サイバーパトロール・サポーター委嘱状交付式等の実施について

生活安全部から前記事項について、「インターネット上における違法・有害情報を検索、発見し、警察へ通報することにより安全・安心なサイバー空間を実現、構築することを目的として、平成14年度から制度の運用を開始した。委嘱状交付式に先立ち、県内のサイ

バー犯罪情勢や、通報対象情報及び通報要領等について、サポーターに対する研修会を実施した。」旨の報告がありました。

公安委員から「サイバーの世界は、日進月歩、どんどん進んでいる。警察だけで対処するにはなかなか追いつけないかもしれないので、外部の力を利用するというのは大事なことである。もっと若い世代に掘り下げていければ良いと思う。サポーターの活動はとても大事であるが、外から見ると活動のイメージがわからない。活動の中身に踏み込んだ広報も必要ではないか。」旨の意見がありました。

(5) 令和3年沖縄県水難事故防止推進協議会の開催結果について

地域部から前記事項について、「水難事故防止に関係する機関や団体が一堂に会し、本年の水難事故防止運動の基本方針等について認識を共有することにより、水難事故防止に関する施策を総合的かつ効果的に推進するため、水難事故防止推進協議会を開催した。会議では、水上安全条例の改正点の説明や周知依頼を行った。」旨の報告がありました。

公安委員から「コロナ禍で色々な制約を受ける中で、頑張っているのは心強く思う。コロナで遊泳禁止になって監視人がいない状況等があると思うが、観光客は分からずに泳いでしまう。定期的なパトロールを実施してもらいたい。水上安全条例が本格的に動き出したので期待している。各地区の協議会も含めて、いかに実効的な取り組みが出来るのかがポイントである。水難事故は年々増えているので、事故が発生した際の振り返りが大事になる。何をやれば事故が防げたのかという振り返りをして、実効性をどんどん高めていくことをしなければならない。レジャーボートや遊漁船など団体で動く人はいいが、釣り等個人で動く人たちに対して、看板を設置する等して危険箇所を周知徹底して事故防止に努めてもらいたい。」旨の意見がありました。

(6) 警察用航空機「しまもり」運航始め式の開催結果について

地域部から前記事項について、「警察用航空機「しまもり」が就航したことにより、公安委員、警察本部長等を招き、那覇空港県警察航空隊庁舎において運航始め式を開催した。」旨の報告がありました。

公安委員から「最新鋭のしまもりは、各種装備等も充実しており、素晴らしい機種であった。」旨の意見がありました。

(7) 令和2年中の死体取扱状況等について

刑事部から前記事項について報告がありました。

公安委員から「取扱い数を聞いて驚いた。感染症が多い中、検視は大変な作業だと思うが、頑張っていたきたい。」旨の意見がありました。

(8) 宮古島市平良字下里における殺人事件被疑者の検挙について

刑事部から前記事項について報告がありました。

公安委員から「検挙されるまで、地域の方々にとっては不安で長い期間だったと思う。地道で根気強い捜査が実を結んだと思う。更なる事実解明を期待している。」旨の意見

見がありました。

(9) 令和3年春の全国交通安全運動の実施結果について

交通部から前記事項について、「本年4月6日から15日までの間、春の全国交通安全運動を実施した。期間中の県内における交通死亡事故の発生はなかったが、飲酒絡みの人身事故の発生があった。期間中、各警察署では交通事故防止のため様々な取組を実施した。」旨の報告がありました。

公安委員から「子供に対する交通安全指導は大事なので引き続き取り組んでもらいたい。最近、自転車の交通マナーの悪さが気になる。自転車を利用する人は増えてきているので、自転車の事故防止活動についても取り組んで欲しい。」旨の意見がありました。

(10) 令和3年度機動隊新隊員警備訓練の実施について

警備部から前記事項について報告がありました。

公安委員から「このような訓練を継続して行っているから、現場でも役に立つと思った。訓練や実働の面で、機動隊員のメンタル面のフォローも行ってもらいたい。」旨の意見がありました。

(11) 要人警護の実施結果について

警備部から前記事項について報告がありました。

公安委員から「これからも頑張ってもらいたい。」旨の意見がありました。

(12) 機動警察通信隊の指名式及び訓練の実施について

情報通信部から前記事項について、「九州管区警察局沖縄県情報通信部の職員で編成する機動警察通信隊は、県警察の出動事案現場における通信を確保し、円滑な警察活動の遂行に貢献している。新年度における機動警察通信隊体制の早期確立及び隊員の士気高揚を図るため、機動警察通信隊の指名式を行い、各種訓練を実施した。」旨の報告がありました。

公安委員から「各警察署と緊密に連携して、大規模災害の際にはしっかりと対応してもらいたい。」旨の意見がありました。

2 本部長総括

本部長から「採用募集活動に関しては、もっと何か工夫できることはないか検討していきたい。聖火リレーについては、実施直前の計画変更なので漏れがないよう、職員一丸となって意思統一を図り、しっかりと対応していきたい。」旨の総括がありました。

3 決裁・報告等(7件)

警備部

・ 警備情勢について

警備第二課

- ・ 警察職員の援助要求の変更及び取下げについて

外事課

- ・ 警察職員の援助要求について

交通企画課

- ・ 安全運転管理者等講習委託に係る認定について

総務課

- ・ 公安委員会定例会会議録の作成について

- ・ 公安委員会定例会会議録のホームページ掲載について

- ・ 苦情処理状況等の調査回答について(報告)

4 決定・裁定(1件)

運転免許管理課

- ・ 自動車運転免許の行政処分について